





関係者別の成果のハイライト

軽症頭部外傷が疑われる救急搬送患者の診断経路の改善と加速

 患者	安全性の向上	パネル導入以前には不要な放射線被ばくをされていたであろうと思われる患者 33 例に、軽症 TBI 除外のための CT スキャンを行わずに済みました。
	待ち時間の短縮	TBI が除外されるまでの患者の平均待ち時間が、518 分（8.63 時間）から 258 分（4.3 時間）へと 2.01 倍短縮され、患者の待ち時間を 9 ヶ月間で合計 132 時間節約できました。
 臨床医	信頼性の向上	当救急部門全体で実施した調査において、TBI パネルを使用していたスタッフ（n=9）の 77.8% が、パネルから得られた詳細情報により、脳病変がないという結果が出たときに確かだろうかと不安に思うことが減少した（特に高齢者以外において）と回答していました。
	治療にかかるプレッシャーの軽減	「救急部門での作業には大きなプレッシャーを伴います。患者とその家族の期待に応えるというプレッシャーも、同様に高いものです。診断検査に伴う患者の待ち時間を短縮することで、救急業務に直接的または間接的に関連して不運にも遅れが生じたときに、追加のプレッシャーを最小限にすることができます。」 — Jose Francisco Vargas Rivas、救急部部长
 医療制度 / 病院経営	医療資源利用の強化	導入から 3 ヶ月間で CT スキャンの利用を 10% 削減したことで、熟練した人的資源を他の職務やタスクに再配分することができました。 救急部門内の限られた医療資源の過剰使用を、9 ヶ月間で合計 143 時間抑えることができました。これは医療制度にとって、軽症 TBI が疑われる患者 1 人あたり平均 247.79 ユーロのコストが削減されたことに相当します。
	医療費の削減	導入後 9 ヶ月間に、不要な CT スキャンを行わないことにより削減された総コストは、CT 費用だけに基づいても 4568.85 ユーロを超えました。
 医療費	医療費の削減	導入後 9 ヶ月間に、不要な CT スキャンを行わないことにより削減された総コストは、CT 費用だけに基づいても 4568.85 ユーロを超えました。